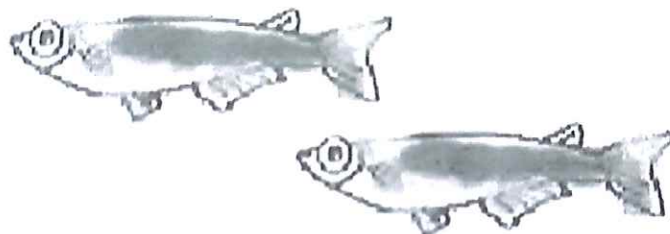
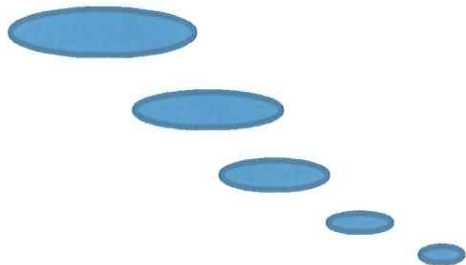


善通寺市 西部校区子ども会



地域の概要

善通寺市西部校区は、善通寺市街地より南西に位置し、「空海」の誕生地として、四国霊場88カ所の第75番札所の総本山善通寺を区内に持ち、国の重要文化財に指定されている「王墓山古墳」をはじめとする「史跡有岡古墳群」があり、歴史や文化の古い地区です。

西部小学校は、141年の歴史を誇っています。

地域としてはもちろんの事、小学校、PTAも一丸となって、近年の異常気象による集中豪雨や南海トラフ地震を想定し、防災訓練や防災意識を高めるよう努めています。



↑ 王墓山古墳

史跡 有岡古墳群

宮が尾古墳→



子ども会の紹介

現在の子ども会会員数は小学生154名、地区・育成役員28名、子ども会役員6名 計188名で年間の活動を行っています。

当子ども会の特色ある取り組みとして、「西部めだか事業」と「わんぱく寺子屋」があります。前者は校区内を流れる弘田川や校内ビオトープを中心に、地域との関わりを深めながら「めだかの学校」を合言葉に盛り上げようという活動です。

また、後者は「異年齢交流」を主とした体験活動です。子ども達が楽しく参加出来るように、毎年内容を変えて行っています。

単位子ども会は11地区に分かれており、各地区において、夏休みラジオ体操、夏休みプール開放、清掃活動、秋祭り獅子組練習、ハロウィーン、クリスマス会や6年生お別れ会など、様々なイベントを行っています。

小学校の前を流れる弘田川→



年間活動状況

6月	市内校区親善相撲大会	11月	市内校区親善ソフトボール大会
7月	善通寺まつり「チビッ子行列」	3月	お別れ会
9月	わんぱく寺子屋		

6月 市内校区親善相撲大会

練習が始まり、最初はぎこちない動きだった14名の子ども達でしたが、コーチ指導のもと、練習を重ねるごとに上達し、大会では練習以上の力を発揮。個人戦では4名が入賞、団体戦高学年の部でも入賞という成果をおさめました。

低学年の団体戦では、1年生の参加者がおらず、3名で戦うところを1名欠いた2名で挑みました。

人数が足りなくても団体戦に出たい！という子ども達のやる気と当日はもちろん、大会に向けて日々精進していく姿に、みんなが感動しました。



7月 善通寺まつり「チビッ子行列」



毎年、特に元気いっぱいの3年生の子ども達で参加しています。

連日続いた猛暑の影響で、体調を崩してしまった児童もいて、体調面で大変心配しましたが、児童19名、保護者19名 計38名でチビッ子行列に参加する事が出来ました。

”めだかの学校”西部小学校の西部めだかつ子達が今年も「どっこいしょ!!」のかけ声と共に、元気いっぱい！力強く！よさこいソーランを踊りました。

9月 わんぱく寺子屋

縦割りのグループ活動の中で異学年と交流し、楽しみながらグループ行動や役割を学び、行事の準備に携わった育成者、参加の保護者や地域の方との交流を活動目的としたデイキャンプです。調理、工作、レクリエーションと毎年内容を変えて行っています。

今年は平成最後のわんぱく寺子屋となるため、「サマーフェス！2018～平成最後のわんぱく寺子屋～」と題して、地元”とっと会”ご協力のもと、西部小学校で開催することになりました。子ども達も保護者の方々もみんなが少しでも楽しい時間を共有出来ればと思っています。
今年は、児童と保護者合わせて153名の参加を予定しています。



※写真は8月に行ったわんぱく寺子屋試作の様子です。
流しそうめんの装置確認とコロコロサッカーでアイスを試作しました。

11月 市内校区親善ソフトボール大会

4, 5, 6年生を対象に、今年は25名の児童が参加する事になりました。

最初は上手くボールをキャッチ出来なかった子も、練習を重ねる毎にみるみる上達しています。

保護者の皆さんの協力を得て、大会に向けて日々頑張っています。



写真: 第47回 校区親善ソフトボール大会

3月 お別れ会

卒業した6年生とのお別れ会・在校生とのお楽しみ会を開催しています。

昨年は、クレープ作り、絵手紙作り、ビンゴゲーム、グループ別ゲームと盛りだくさんの内容で、参加者95名の楽しい会となりました。

今年はどんな事をするか？お別れ会に限らず、親子工場見学バスツアーや親子で果物狩りなどの案もあり、まだまだ検討中ですが、子ども達に”参加して良かった！”と思って貰えるようなイベントを企画していきたいと思います。

終わりに

世帯・児童数の減少、保護者の協力体制意識の希薄化、本部・育成役員の後継人選の問題など、子ども会を取り巻く環境は良いものではありません。

行事運営にあたり、一部の役員の方々に大きな負担をお願いしているのが現状です。

これからの問題を改善するため、役員の選出方法を中心に、システムを変えていこうとしています。

しかし、「子どもたちにとって、今しか出来ない体験や思い出作りを支援したい！」というこの意思は変えず『子ども会＝子どもの意思を反映する会』の役員として、大切に残していきたいと考えています。